

◇「国策」として推進する重み

令和5年6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023について」(いわゆる「骨太の方針2023」)において、下記の文言が明記されました。

国策として推進するGIGAスクール構想の一人1台端末について、公教育の必須ツールとして、更新を着実に進める

一人1台端末は、単なる「使ってもいい道具」ではなく、令和5年以降も、「**必須のツールとして使うものである**」ことが国の方針として示されたことになり、その重みは計り知れません。

PISA2018の「ICT活用調査」では、学校の授業におけるデジタル機器の使用時間が、OECD加盟国の中で、日本が最下位という結果でした。国際社会の中で生きていく日本の子どもたちにとって、「デジタル後進国」というイメージをもたれないようにすることは大事なことです。

また、2030年には、先端IT人材が54.5万人不足するとの予測も出ており、国を挙げて、デジタル人材を育成することは必要不可欠となっています。

一人1台端末があることで、家庭の経済状況に関係なく、子どもたちは、ICTに触れることができます。**子どもたちの可能性を広げるために、すべての教室で端末活用の推進をお願いします。**

「教育振興基本計画」について

「骨太の方針2023」と同日に閣議決定された「教育振興基本計画」においても、「教育DXの推進・デジタル人材の育成」、「指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化」が目標に掲げられ、「**GIGAスクール構想によって整備された端末の利活用の日常化を促進する**」と明記されました。目標達成に向けた指標も示されています。

【指標】※抜粋

- ・児童生徒の情報活用能力の向上
- ・教師のICT活用指導力の改善
- ・児童生徒一人一人の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面でのICT機器の活用頻度の増加
- ・児童生徒同士がやりとりする場面でのICT機器の活用頻度の増加
- ・ICT機器を活用した授業頻度の増加

指標の中には、「指導者一人1台端末水準の向上」など、教育委員会が果たすべき役割も明記されています。現在、準備を進めている「小学校低学年担当へのiPad配備」等の環境整備や、研修の充実などを図り、学校をサポートしていきます。

◇夏季研修への参加申込 受付中です！

令和5年6月16日付け教委セ第751号「令和5年度『情報教育』夏季研修の実施について」で通知しており、〆切は、6月30日(金)までです。

参加者取りまとめ業務削減のため、Google Formsでの個人申請を可能としていますので、右記QRコード、もしくは活用支援サイトから申請をお願いします。

《活用支援サイト》<https://www.oit-ed.com/5sum>



先生方が自分のニーズに応じた研修を受講できるように、シンキングツールを使って、開催する研修を整理しています。

(本レターと一緒に送付しており、「活用支援サイト」にも掲載しています)

研修内容の「レベルの目安」が分かる図と、「端末等の使い方」を学ぶのか、「授業づくりに踏み込んだ内容」なのかが分かる図を作成しています。受講する研修を選ぶ際の参考にしていただければ幸いです。

※あくまで目安です。「操作に習熟している方しかLv.3を受講できない」という訳ではありません。

《昨年度、受講した先生の感想》

- ・子どもたちが高揚すると 確信しました。
苦手な私でさえ、2時間半が あっという間！
- ・同じグループになった先生方の「活用したい」という熱意が伝わる研修だった。
- ・簡単に使えるアプリが想像以上に入っていた。
- ・作業していて、とても面白かったです。...ハマリそうです。



情報教育研修では4つのことを大切にしています。

- ①「今さら...にしない」 →基礎的なことから学習可能
- ②「ひとりにしない」 →グループでの活動が多く助け合うことが可能
- ③「すぐ使えるものを」 →即実践できる内容で構成
- ④「楽しく学べる」 →ワクワクする内容で構成

楽しみながら、一緒に学びを深めていきましょう。

◇みんなで考えることの大切さ

全校1名参加の情報モラル教育研修を行いました。子どもたちの端末保有率や、人気のあるアプリ、そこで実際に起こっているトラブル等、最新の情報を講師である七條麻衣子さんから詳しく説明していただき、受講者からは、「**最新の情報を知ることができ、今、子どもの世界に何が起きているかを理解できていなかったことに気づかされた。**」といった感想が寄せられました。

途中、2回行ったブレイクアウトルームでは、「ChatGPTを使って読書感想文を書いてきた児童生徒への指導をどうするか」といったテーマを扱い、充実した協議となりました。

「生徒指導上の理由からiPadを使わせていない」という声を聞くことがありますが、教育用端末の使用を禁止しても、**少なくない数の子どもたちが、自分の端末を所有しているのが現状**です。

「ないもの」として扱うのではなく、「何が起きているのか」を知り、保護者も交えて、一緒に考えることが大事です。夏季研修でも、情報モラルや最新の情報に関する講座を準備しています。ぜひ、ご参加ください。

《夏季研修》

7/28(金)AM「情報モラル授業を体験」
8/3(木)AM「生成AI・ChatGPT」

最新情報を知り、2学期から実践できる講座です。

◇子どもたちの考えを可視化する

「授業中、子どもたちの考えを可視化したい」時には、ロイロのアンケート機能が便利です。リアルタイムで回答結果が集計・表示されます。アンケートの作り方は活用支援サイトにアップしていますので参考にしてください。



他にも、「Aの考えの人は赤カード」「Bの考えの人は青カード」と、色違いのカードを提出させることで、瞬時に今の考えを見取ることも可能です。

※7/26(水)AMの夏季研修で扱います。